


Withコロナ時代の新しい富士登山マナー

①から⑦は登山前（事前の計画）から、⑧から⑮は登山中（現地での行動）のご協力をお願いします。

<p>1 発熱・症状があるときは登山を行わない</p>  <p>平熱比 +1度以上 (37.5度以上) 息苦しい 咳がある だるい など</p> <p>※コロナ禍の救助活動は時間もかかり、救助者への負担も大。必ず万全の体調で ※持病がある方や年齢等で健康不安のある方は入山をやめましょう</p>	<p>2 なるべく住居を共にしている人と少人数で登山</p>  <p>※大人数の場合、少人数のグループに分かれて行動しましょう</p>	<p>3 混雑する日や時間帯を避ける</p>  <p>※「混雑予想カレンダー」を活用しましょう ※山頂からのご来光は密になりがちです 山小屋付近からもご来光を楽しめます</p>
<p>4 山小屋は必ず事前に予約</p>  <p>※山頂でご来光を見たい方は必ず予約をしてください ※富士山ではテント泊は禁止です</p>	<p>5 宿泊をとまなわなにご来光目的の夜間登山は行わない</p>  <p>※安全な登山と山頂での密回避のためです</p>	<p>6 最新情報をよく確認し、安全に配慮した余裕のある登山計画を立てる</p>  <p>※富士登山オフィシャルサイトを必ず確認 ※感染対策を行いながらの登山は平時よりも時間がかかります</p>
<p>7 感染対策グッズを準備</p>  <p>マスクや手ぬぐいなど ※1日枚以上 密閉式保存袋 (エチケット袋など) ※ゴミ・吐物入れ用 ヘッドライト ※夜間に位置を知らせて密回避 携帯用の手指消毒剤</p>	<p>8 同行者以外の人とはソーシャルディスタンスを確保</p>  <p>※距離を確保する際、登山道からは絶対に外れないこと（落石のおそれあり）</p>	<p>9 必要に応じて、マスクや手ぬぐいなどで鼻と口を覆う</p>  <p>登山道でのすれ違い 屋内の公共施設 距離が確保できないとき</p>
<p>10 登山道の渋滞時には交互登下山に協力を</p>  <p>※安全誘導員がいる場合は、その指示に従いましょう</p>	<p>11 呼吸を荒らげないように、無理のない自分のペースを維持</p>  <p>※激しい呼吸は唾液の飛沫が増えます ※無理な追い越しはやめましょう</p>	<p>12 同行者以外との物品の共有、杭やロープへの接触は避ける</p>  <p>※杭やロープは登山道を示すものであるため、絶対に触れないでください</p>
<p>13 トイレや売店を利用した後は、必ず手指消毒</p> 	<p>14 ゴミや吐物は密閉式の袋に入れて持ち帰る</p>  <p>※感染拡大の観点から密閉が必要です</p>	<p>15 体調不良時等は速やかに登山を中止して下山</p>  <p>※該当者との濃厚接触者も、症状の有無にかかわらず下山してください ※天候悪化が予測される場合、登山を中止</p>

詳しい情報はこちら

富士登山 コロナ対策

検索

